

人を対象とする医学系研究に関する情報公開（オプトアウト） 当院では下記の臨床研究を実施しております。 この研究の対象者となることを希望されない場合は、下記の連絡先まで お問い合わせください。

1.研究管理番号（受付番号）

2022-002

2.研究の名称

「透析療法に至った糖尿病腎症患者に対する透析に至るまでの治療薬の解析」

3. 試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）

糖尿病腎症は、細小血管障害に基づく神経障害、網膜症、腎症の糖尿病三大合併症の名目でも、生命に最も重大な影響を与える合併症である。臨床的には微量アルブミン尿、蛋白尿の出現により診断され、末期には腎不全、尿毒症に至り、糖尿病予後を左右する重篤な合併症であるが、その成因と対策はいまだ明らかではない。糖尿病腎症の治療は、血糖と血圧のコントロールが重要であり、血圧管理では、降圧薬であるアンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬(Angiotensin II Receptor Blocker：ARB)やアンジオテンシン変換酵素(Angiotensin-converting enzyme：ACE)阻害薬において、早期腎症におけるエビデンスがいくつか報告されている。血糖管理では、血糖コントロールが良好なほど早期腎症、顕性腎症の進行を抑制する報告がある。しかし、個々の患者に対して総合的にどのような治療が良いかというエビデンスはあまりない。そこで今回、透析療法に至った患者に対して、どのような治療を行ってきたのかを確認し、透析導入に至るまで糖尿病腎症に対する効果を明らかにする。薬剤が処方された患者様の診療録データを集約し、統計処理を行った個人特定不可能な形式で発表する。

4. 利用し、又は提供する試料・情報の項目

セコメディック病院受診中患者のうち、透析療法に至った糖尿病患者とし、糖尿病腎症と診断されてからの治療薬、診療録データを後ろ向き調査する。

5. 利用する者の範囲

セコメディック病院・城西国際大学

6. 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称 薬剤部

業務推進部部长 薬剤師 長澤 宏之

7. 本研究に関するご連絡先 本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡ください。また本研究の対象となる方またはその代理人より、診療情報の利用の停止を 求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も 下記へのご連絡をお願いいたします。

所属：薬剤部 氏名：玉井 祐馬

電話：047-457-9900（施設代表）

その他の窓口：臨床倫理委員会事務局